

大阪で25歳のひとり暮らしには、1か月274,021円、時給1,827円が必要です

# 大阪で普通に子育てするには 年間 **611万~907万円** が必要です



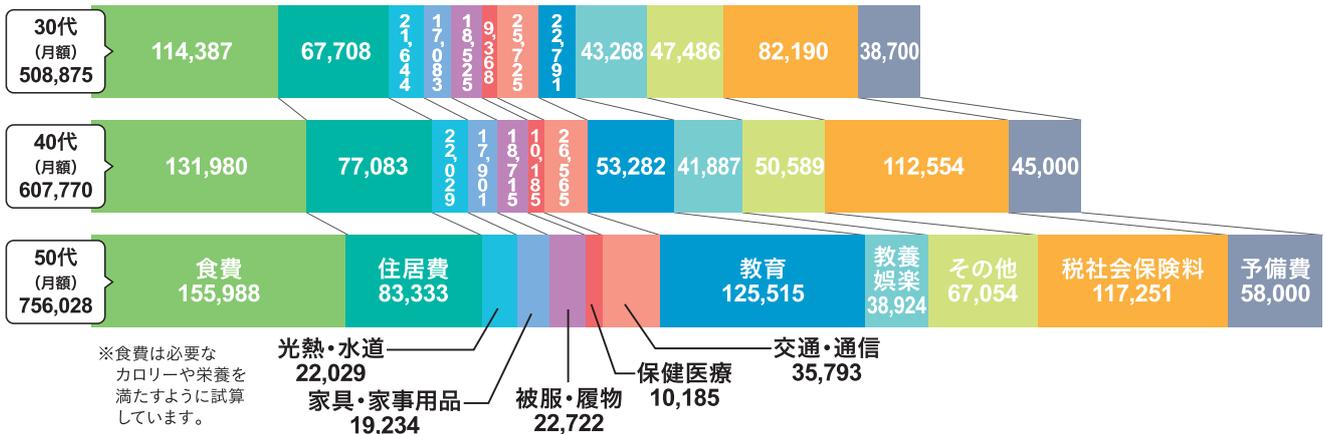
大阪労連は、大阪府内で働く約1万人に「生活実態調査」「持ち物財調査」のアンケートにとりくみ、「必要生計費調査」を実施しました(2021年)。その後の急激な物価変動の実態を反映するために、2024年に改めて「価格調査」を実施。

その結果は右の表です。

大阪府の最低賃金1,177円(2025/10/16現在)では、生活は苦しく、安心して暮らすには、最低賃金の大幅な引き上げと賃金引き上げが欠かせません。

## 必要となる生活費・賃金の水準

	家族形態	月額	年額
25歳	単身者	274,021	3,288,252
30代	夫婦と	508,875	6,106,500
40代	子ども	607,770	7,293,240
50代	2人世帯	756,028	9,072,336



ここで想定した「普通の生活」とは、30代は夫婦と小学生、私立の保育園に通う幼児の4人家族。43㎡前後の賃貸マンション／アパートに住み、家賃は約68,000円。食費は月約114,000円(1人1食317円。夫の昼食は月に12回はコンビニ弁当)。冷蔵庫、炊飯器、洗濯機、掃除機、エアコンなどの家電は、量販店で最低価格帯のもので買いそろえ、夫はスーツ2着などを着まわしています。日帰り行楽は月1回、泊りをともなう家族旅行が年2~3回などを含めて教養娯楽費は約43,000円。教育費は約23,000円。

40代になると、子どもが成長して、小学生と中学生となり、月あたりの教育費は約53,000円に増えます。さらに、50代になると、長男は府内の私立大学に通い始め、一気に学費が跳ね上がります。1か月あたりの教育費は約12.6万円で、このうち大学生にかかる教育費が月あたり約11万円となります。



私たち大阪労連が、最低賃金引き上げのために、みなさんの声を審議会に届けます!

こちらからアンケートにご協力ください➡



憲法いかし、ふつうに働けば人間らしく暮らせる社会を! — あなたも労働組合へ —